

## 《Lesson 1》 一般動詞の過去形 肯定文

ここでは「私はサッカーをしました」「彼は 10 時間働きました」など『一般動詞の過去形の肯定文』について学びます。基本的な形は、一般動詞の現在形の肯定文と同じなのですが、違いは

### 一般動詞を過去形にする

というところです。現在形では「主語によって動詞に s/es がつく」といった変化があったのですが、過去形では主語に関係なく同じ過去形を使います。つまり、一般動詞の過去形の肯定文の基本の形は以下の通りとなります。

#### 【一般動詞の過去形 肯定文:基本の形】

主語 + 一般動詞の過去形 (+目的語)(+～).

(「主語」は「動詞」をしました)

それでは、気になる「一般動詞を過去形にする方法」について学んでいきます。一般動詞を過去形にする方法は、大きく分けると 2 種類あります。(ただし、今回は「パターン 1」だけを練習していこうと思います)

#### 【一般動詞を過去形にする方法】

<パターン 1:一般的な動詞(今回練習) = 一般動詞の最後を ed の形にする>

1. **ed を足す場合** = 多くの一般動詞 (ただし、単語の最後が「子音+y」の場合、y → i にして ed)

<例>

- (1) I **played** soccer yesterday. (私は昨日サッカーをしました)
- (2) He **studied** English with me. (彼は私と英語を勉強しました)

<study は、最後が「子音+y」なので、stud**ied**となる>

2. **d を足す場合** = 一般動詞の最後が e で終わる

<例>

- (1) She **liked** our new office. (彼女は、私たちの新しいオフィスが好きです)
- (2) They **used** this room. (彼らは、この部屋を使いました)

<パターン 2:不規則動詞(次回練習) = 動詞が持っている独自の過去形の形にする>

一般動詞の最後を ed の形にするのではないので難しい。

## 【作り方】

1. **現在形**の肯定文を作る。
2. **動詞を過去形**に変える。

### <例 1> 「彼は私と英語を勉強しました」という文を作る場合

1. **現在形**の肯定文を作る。 → **彼は私と英語を勉強します。**  
\_\_\_\_\_ He studies English with me.
2. **動詞を過去形**に変える。  
\_\_\_\_\_ He **studied** English with me.

### <例 2> 「彼らはこの部屋を使いました」という文を作る場合

1. 現在形の**肯定文**を作る。 → **彼らはこの部屋を使います。**  
\_\_\_\_\_ They use this room.
2. **動詞を過去形**に変える。  
\_\_\_\_\_ They **used** this room.

## ポイント！ need to / want to / like to の過去形

「～する必要があった」「～したかった」といった、**need to ~ / want to ~** の形を過去形にする場合、**need と want だけを過去形にし、to の後の動詞は過去形にしない**ので注意。

- <例> I **needed** to study English. (私は英語を勉強する必要がありました)  
《I needed to studied English. = ×》  
She **wanted** to use this. (彼女はこれを使いたいと思っていました)  
《She wanted to used this. = ×》

また、「私は、～だったと思う」「私は～だったと知っている」と言いたい場合は、「I think + 過去形の文」「I know + 過去形の文」といったように、**think / know は現在形のまま**なので注意してください。ポイントは、**日本語文をしっかり読み、何が過去形になっているかを考える**ことです。

- <例> I **think** he used this. (私は彼がこれを使ったと思います)  
She **knows** I played soccer yesterday. (私はサッカーをしたことを彼女は知っています)